02-マクロの記録をやってみる

本格的にVBAを学ぶ前に、プログラムを書かずにマクロを作ってみましょう。

何でも良いので表を開いてください。

今回は例としてこのような表を作成しました。

	Α	В	С	D	E	F	G
1	姓	年齡	生年月日	性別	メールアドレス	郵便番号	住所
2	今井	46	1976年01月31日	男	imai_131@example	558-7785	大阪府大阪市城東区成育1-3-19
3	岡本	45	1976年09月26日	男	okamoto_masahiro	334-4637	埼玉県川口市上春木西3-5-21
4	金子	27	1995年02月21日	女	kaneko_eriko@exar	328-6612	栃木県小山市西城南2-1-7
5	Ш	37	1985年02月20日	女 男	kanayamaguchi@e:	541-5319	大阪府大阪市西区北堀江2丁目2番4号
6	勝部	27	1994年06月21日	男	katsubeshinichiro@	198-7397	東京都港区虎/門3-4-15
7	柴田	32	1989年09月20日	男	shibata_takashi@e:	315-6467	茨城県日立市滑川本町3丁目1番9号
8	中島	32	1989年11月22日	男	nakajima_hajime@e	172-8087	東京都中央区八丁堀1丁目2番地5号
9	三谷	20	2001年05月06日	女 男	mitani56@example	256-6020	神奈川県厚木市岡田3丁目2番5号
10	小暮	23	1998年12月29日	男	kogure_takehiko@e	186-3748	東京都国立市東3丁目2番地3号
11	西谷	42	1979年08月11日	女	nishitani_811@exar	107-5525	東京都港区新橋1-5-10
12	桜井	48	1973年08月31日	女 男 男	sakurai_831@exam	434-6145	静岡県静岡市駿河区下川原1-2-505
13	川原	29	1993年02月12日	男	kawaharatakeshi@	074-7971	北海道釧路市文苑2-2-6
14	佐野	21	2001年01月17日	男	masaki_sano@exar	135-3839	東京都杉並区下高井戸3丁目1番5号
15	遠藤	32	1989年05月25日	女 男	endo525@example.	337-7255	埼玉県さいたま市南区内谷1-4-1107
16	小島	33	1988年09月11日	男	takaya_kojima@exa	191-9972	東京都江戸川区松江1-1-10
17	若松	32	1989年08月28日	女	wakamatsu_828@e:	984-9734	宮城県仙台市太白区茂庭台3-1-15
18	大石	22	1999年12月21日	男	shogo_oishi@examp	096-0694	北海道岩見沢市一条西1丁目2番5号
19	横井	33	1988年08月26日	女	yokoi_yukari@exam	804-2280	福岡県大野城市御笠川2-3-701

もしも手頃なデータが無い場合には下記リンクのダミーデータ生成サービスから適当な表を作成して使用してください。

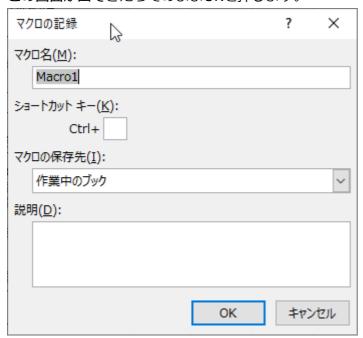
個人情報テストデータジェネレータ

データを開いたら開発タブを開いておきます。

次にマクロの記録を押し、



この画面が出てきたらそのままOKを押します。

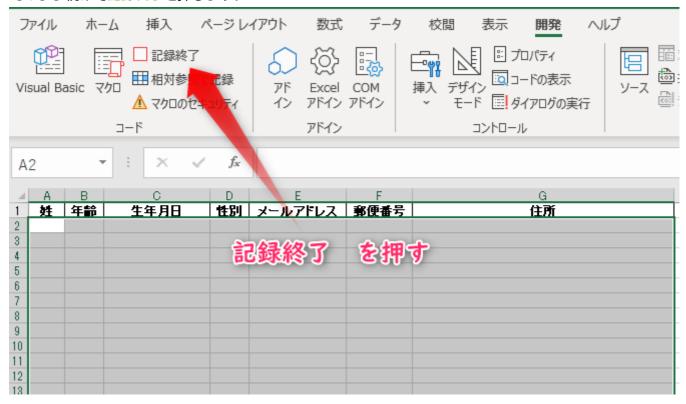


そのままデータを全て選択し



DELETEキーを押してデータを削除してください。

そのまま続けて記録終了を押します。

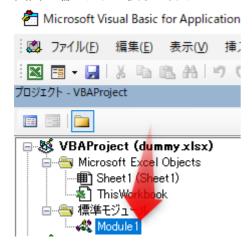


記録終了が出来たら、Ctrl + Zを押して先程消したデータを復活させておきます。

そのままVisual Basicのボタンを押すとVisual Basic Editorというものが起動します。



画面左端のツリー表示を探すとModule 1というものがあるはずですので、これをダブルクリックします。



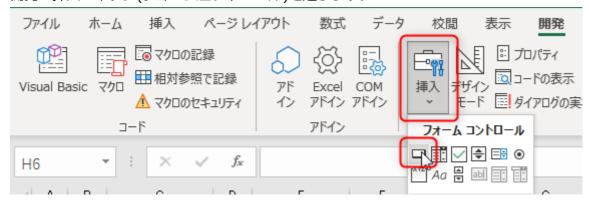
すると、先程行った「指定した範囲のデータを消す」という動作が記録されたプログラムが表示されています。

```
General)

Sub Macrol()
, Macrol Macro
,
Range("A2:G34").Select
Selection.ClearContents
Range("M1").Select
End Sub
```

Excelに戻り、

開発→挿入→ボタン(フォームコントロール)を選びます。



適当な位置をドラッグしてボタンを配置します。



配置した瞬間、このような画面が表示されますので、Macro1を選択してOKを押します。



ボタンが押せるようになっているので、このボタンを押すと先程記録した「指定した範囲のデータを消す」という動作が実行されます。

G	Н	I
住所		
大阪府大阪市城東区成育1-3-19		
埼玉県川口市上青木西3-5-21		
栃木県小山市西城南2-1-7		
大阪府大阪市西区北堀江2丁目2番4号		
東京都港区虎ノ門3-4-15		
茨城県日立市滑川本町3丁目1番9号		
東京都中央区八丁堀1丁目2番地5号		
神奈川県厚木市岡田3丁目2番5号	_U_ =	
東京都国立市東3丁目2番地3号	**************************************	4
東京都港区新橋1-5-10	0	
静岡県静岡市駿河区下川原1-2-505		
11 N= N# A MP = == 1 == -		

このように、マクロの記録を使うと単純な動作であればプログラムを書かずにマクロを作成することが出来ます。